

2024年4月3日
株式会社SVPジャパン

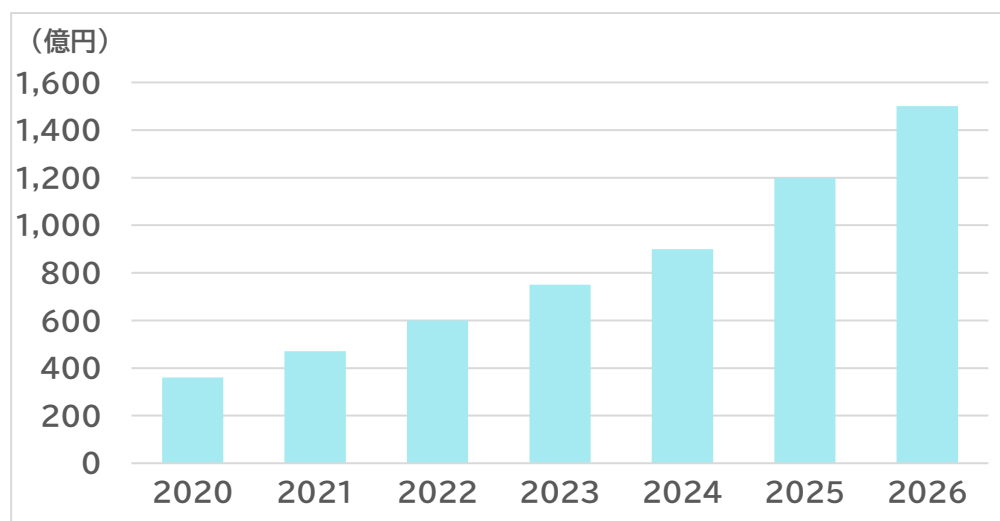
SVP注目市場分析 「エンタープライズSaaS（業務システム）」を公開

～SaaS型の導入が進む、国内ERP市場～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「エンタープライズSaaS（業務システム）-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■エンタープライズSaaS（業務システム）の国内市場



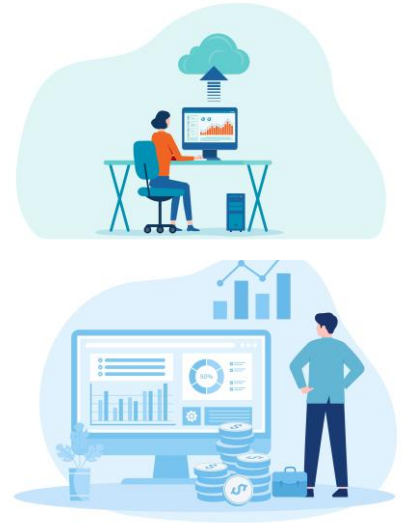
業務システムの代表的なエンタープライズSaaSとして、SaaS型ERP（Enterprise Resource Planning）の国内市場を調査対象とする。

SaaS型ERPの市場規模は、2023年の実績として約750億円であったと推定される。2021年以降、年間20～30%増の高成長が続いている。ERPを提供する主要企業がSaaS型への注力度を高めており、今後もSaaS型がERP市場の拡大を牽引し、市場におけるそのウエイトがさらに高まる見通しである。

また、マーケットシェアにおいては、ERPの世界最大手である独SAP（日本法人はSAPジャパン）が、過半のシェアを占めると推定される。次いで、クラウドを前提としたSaaS型ERPの提供に力を入れてきた米Oracle（同・日本オラクル）、国産ERPの開発で40年以上にわたる実績を持つ富士通グループが続いている。

■ エンタープライズSaaS（業務システム）の市場概況

国内のERP市場は、コロナ禍を経て、2021年の後半以降、好調な市場の拡大が続いている。経済産業省の旗振りなどで、企業のDXの必要性が強く認識されるようになってきていることが、市場拡大の要因となっている。こうした中で、従来の主流であったオンプレミス型での導入が減少する一方、クラウド型が急速に普及し、ここ数年はその比率が逆転している。クラウド型でも、特にSaaS型がERP市場の拡大を牽引している。SaaS型は、カスタマイズの自由度は低いですが、システムのコストを大幅に軽減できるうえ、短期間で導入できる。これらのメリットから、ERPを提供する主要企業がSaaS型に注力しており、オンプレミス型からの移行による既存のシステムのリプレースを含めて、新規ユーザーの獲得につながっている。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック
※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



■ 次回のテーマ

5月のテーマは、「エンタープライズSaaS (グループウェア)」と「AR/VRデバイス」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール・・・毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com